

音楽

音楽科では、表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成するため、〔共通事項〕の内容及び取り扱い方に留意することが大切です。

音楽科の授業づくりのポイント

- 〔共通事項〕の「音楽を形づくっている要素」の精選
- 児童が「音楽を形づくっている要素」を思考・判断のよりどころとする指導の工夫

□ 〔共通事項〕の「音楽を形づくっている要素」の精選

〔共通事項〕とは、表現及び鑑賞の学習において**共通に必要となる資質・能力**です。教師は、題材の特徴から、〔共通事項〕の「音楽を形づくっている要素」を精選し、焦点化を図ることが大切です。


〔共通事項〕	ア 「思考力、判断力、表現力等」に関する資質・能力	「音楽を形づくっている要素」 ア 音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なり、和音の響き、音階、調、拍、フレーズなど	「記号」 音符、休符記号や用語
	イ 「知識」に関する資質・能力	イ 反復、呼びかけとこたえ、変化、音楽の縦と横との関係など	

□ 児童が「音楽を形づくっている要素」を思考・判断のよりどころとする指導の工夫

児童が「音楽を形づくっている要素」を思考・判断のよりどころとし、音楽的な見方・考え方を働かせながら活動できるよう、指導の工夫を図ることが大切です。

〔第6学年「音楽づくり」の指導例〕

次の楽譜に、「和音」(C、F、G)を選び、端末のアプリを使って伴奏を付けてみましょう。



【教師が示す楽譜(例)】

なるほど! 「和音」の付け方によって雰囲気が変わりますね。楽譜でも確認してみましょう。

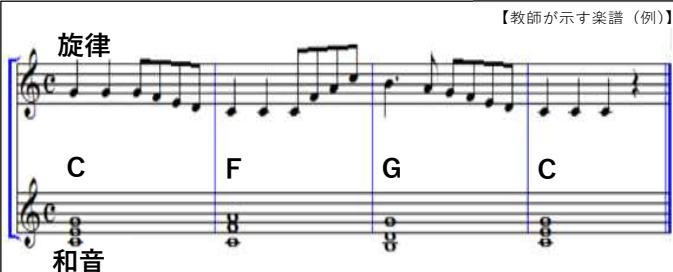
4小節Cの「和音」だけだと何か合わない感じがする・・・

最後にFの「和音」で終わると、続く感じがする。

「旋律」に合う「和音」と合わない「和音」があるみたい! 「旋律」と「和音」には関係がありそうだ!

楽譜で確認しながら、児童が、「音楽を形づくっている要素」に気付くようにします。

次の楽譜に、「和音」(C、F、G)を選び、端末のアプリを使って伴奏を付けてみましょう。



【教師が示す楽譜(例)】

「旋律」の各小節のはじめの音は、「和音」の3つの音のうちの1つと同じだ!

「旋律」には、「和音」以外の音もあるよ。

F、Gの「和音」は続く感じ、Cの「和音」は終わる感じがするよ。

児童の気付きから目標を引き出します。

見つけた「旋律」と「和音」の関係の秘密を使って、自分だけのオリジナルの曲が作りたいな!